



北朝鮮による核実験事案に係る 危機管理委員会

【日時】平成29年9月3日(日)15:20～

【場所】県災害対策本部室(県庁第二庁舎3階)

【参集範囲】

知事、副知事、統轄監、元気づくり総本部、危機管理局、総務部、観光交流局、福祉保健部
生活環境部、自衛隊鳥取地方協力本部

※知事はテレビ会議で出席

※各総合事務所、市町村へは衛星テレビによる配信を行います。

【目的】

情報収集態勢の整備、情報共有及び県民への提供と今後の対応の確認

【内容】

- 1 核実験の状況
- 2 日本政府の動き
- 3 国際的な動向
- 4 県の対応状況等

(参考1)過去の核実験の状況

1 核実験の状況

【北朝鮮付近を震源とする地震波の観測(気象庁発表)】

気象庁で分析したところ、震源の位置等は以下のとおりと推定

< >:平成28年9月9日地下核実験時

- 1 発生日時 平成29年9月3日(日)12時29分57秒
- 2 発生場所 北緯 41.3° < 41.3° >
東経 129.1° < 129.2° >
- 3 深さ 0km<0km>
- 4 マグニチュード 6.1<5.3>

6回の核実験の位置



咸鏡北道(ハムギョンブク外)
 (4回目) H28.1.6 北緯41.3度 東経129.1度 M5.0

咸鏡北道(ハムギョンブク外)
 (2回目) H21.5.25 北緯41.2度 東経129.2度 M5.3
 (1回目) H18.10.9 北緯41.2度 東経129.2度 M4.9

咸鏡北道(ハムギョンブク外)吉州郡(キルジュグン)豊溪里(フンゲリ)
 (6回目) H29.9.3 北緯41.3度 東経129.2度 M5.3

咸鏡北道(ハムギョンブク外)吉州郡(キルジュグン)豊溪里(フンゲリ)
 (5回目) H28.9.9 北緯41.3度 東経129.2度 M5.3

咸鏡北道(ハムギョンブク外)
 (3回目) H25.2.12 北緯41.2度 東経129.3度 M5.2

核実験のエネルギー

1回目	M4.9
2回目	M5.3
3回目	M5.2
4回目	M5.0
5回目	M5.3
6回目	M6.1

Mの値は気象庁発表

北朝鮮による核開発の現状について

過去の核兵器開発疑惑が解明されていないこと及び過去5回の核実験を通じた技術的な成熟が予見されることなどを踏まえれば、**北朝鮮の核兵器開発が相当に進んでいる可能性も考えられる。**

観測された地震の規模及び推定出力

過去4回の核実験と比較すれば、最大の出力



	2006年 10月	2009年 5月	2013年 2月	2016年 1月	2016年 9月
地震の規模 (CTBTO発表の値)	M4.1	M4.52	M4.9	M4.85	M5.1
推定される出力 (※TNT換算)	約 0.5-1kT	約 2-3kT	約 6-7kT	約 6-7kT	約 11-12kT

水爆の保有に関する評価

○ 16年1月の核実験について、北朝鮮は、**初の水爆実験を成功裏に実施したと主張。**

➡ **地震の規模から考えれば、一般的な水爆実験を行ったとは考えにくいものと認識。**

小型化・弾頭化に関する評価

○ 第5回目の核実験(2016年9月9日)後、北朝鮮は、核兵器研究所声明を通じて、「北部核実験場で、新たに研究、製作した**核弾頭の威力判定のための核爆発実験が成功裏に行われた**」と発表。

➡ **技術的な成熟が予見されることなどを踏まえれば、北朝鮮が核兵器の小型化・弾頭化の実現に至っている可能性も考えられる。**

小型化された核弾頭と主張する物体を拝観する金正恩委員長

2 日本政府の動き

総理は、北朝鮮を震源とし自然地震ではない可能性のある地震波の観測を受け、

1. 北朝鮮の今後の動向等に関し、情報収集・分析の徹底を期すこと
2. 核実験に伴う放射性物質の影響を把握するため、関係各国と連携しモニタリング態勢を強化すること
3. 不測の事態にも備えるなど、国民の安全・安心の確保に万全を期すこと

を指示。

⇒国家安全保障会議(NSC)の関係閣僚会議を開催

3 国際的な動向（報道情報）

◆米国防長官、北朝鮮の追加挑発「あり得る」(9/1 時事通信)

マティス米国防長官は31日、北朝鮮が新たな核実験などを準備しているとの観測について、記者団に「そのようなことをする可能性はある」と述べ、何らかの挑発行為に及ぶことはあり得るという認識を示した。予想される挑発の内容には言及しなかった。

◆北が核実験準備完了(8/29 読売新聞)

韓国の情報機関・国家情報院は28日の国会報告で、北朝鮮の北東部豊溪里(ブンゲリ)の核実験場で、6回目の核実験を行う準備が整っていることを明らかにした。

また、国情院は、北朝鮮の潜水艦基地がある東部の新浦(シンポ)にある造船所で7月末から、潜水艦の点検作業が継続して行われていることも明らかにした。潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)発射の準備作業を行っている可能性がある。

◆日韓電話会談 米と連携 北朝鮮への圧力強化で一致(8/25 NHK WEB)

安倍総理大臣は、韓国のムン・ジェイン(文在寅)大統領と電話で会談し、北朝鮮による弾道ミサイルの発射や核開発を抑止するため、アメリカと連携して圧力を強化していくことで一致しました。

◆北朝鮮 新型弾道ミサイル開発の可能性 国営メディア報道(8/24 NHK WEB)

北朝鮮の国営メディアが23日伝えた、弾道ミサイルの開発を行っている研究所の写真に、「火星13」と書かれた3段式のミサイルのパネルも写っていることが確認され、新型のSLBM＝潜水艦発射弾道ミサイルに加えて、固体燃料を使った地上配備型の新しい弾道ミサイルの開発も進められている可能性があります。

4 県の対応状況

◆情報の共有

- ・ 12:53 [第1報]北朝鮮核実験の疑いの情報共有
- ・ 14:14 [第2報]危機管理委員会の開催
- ・ 14:43 [第3報]安否確認状況(現時点異常なし、継続確認中)

◆県関係の安否確認の状況

- ①漁 船(水産課) ⇒ 全船異常なし
- ②DBS(通商物流課) ⇒ 異常なし
- ③若鳥丸(教育総務課) ⇒ 異常なし
- ④エアソウル(観光戦略課)⇒ 異常なし
- ⑤香港便(観光戦略課) ⇒ 異常なし
- ⑥韓国への派遣職員⇒確認中(現時点で異常なし)

◆モニタリングを強化(13:00に指示)

知事コメント

- 弾道ミサイルに続き、核実験を強行する北朝鮮は常軌を逸しており、憤りに堪えない。
- 県も情報収集と放射線監視に当たっていくが、政府に対しては拉致問題も含め、国際社会とスクラムを組み、断固たる対応を求める。

【モニタリング】

● 知事、原子力規制庁の指示に基づいた対応

1) モニタリングポスト(空間線量率)

- ・県内に設置されているモニタリングポスト(固定局9局)で監視
- ・県のHPで公開中

2) 降下物(降雨など)の測定

- ・15時から翌日15時までの24時間のサンプリング
→本日、13時29分からサンプリング開始(国の指示は14時 30分)
- ・核種分析を行い、国へ報告

3) 大気浮遊じん(チリやホコリ)の測定

- ・9時から翌日9時までの24時間のサンプリング
→本日、13時29分からサンプリング開始(国の指示は14時30分)
- ・核種分析を行い、国へ報告

● 県民への情報提供について

モニタリングポストのデータについて資料提供する。

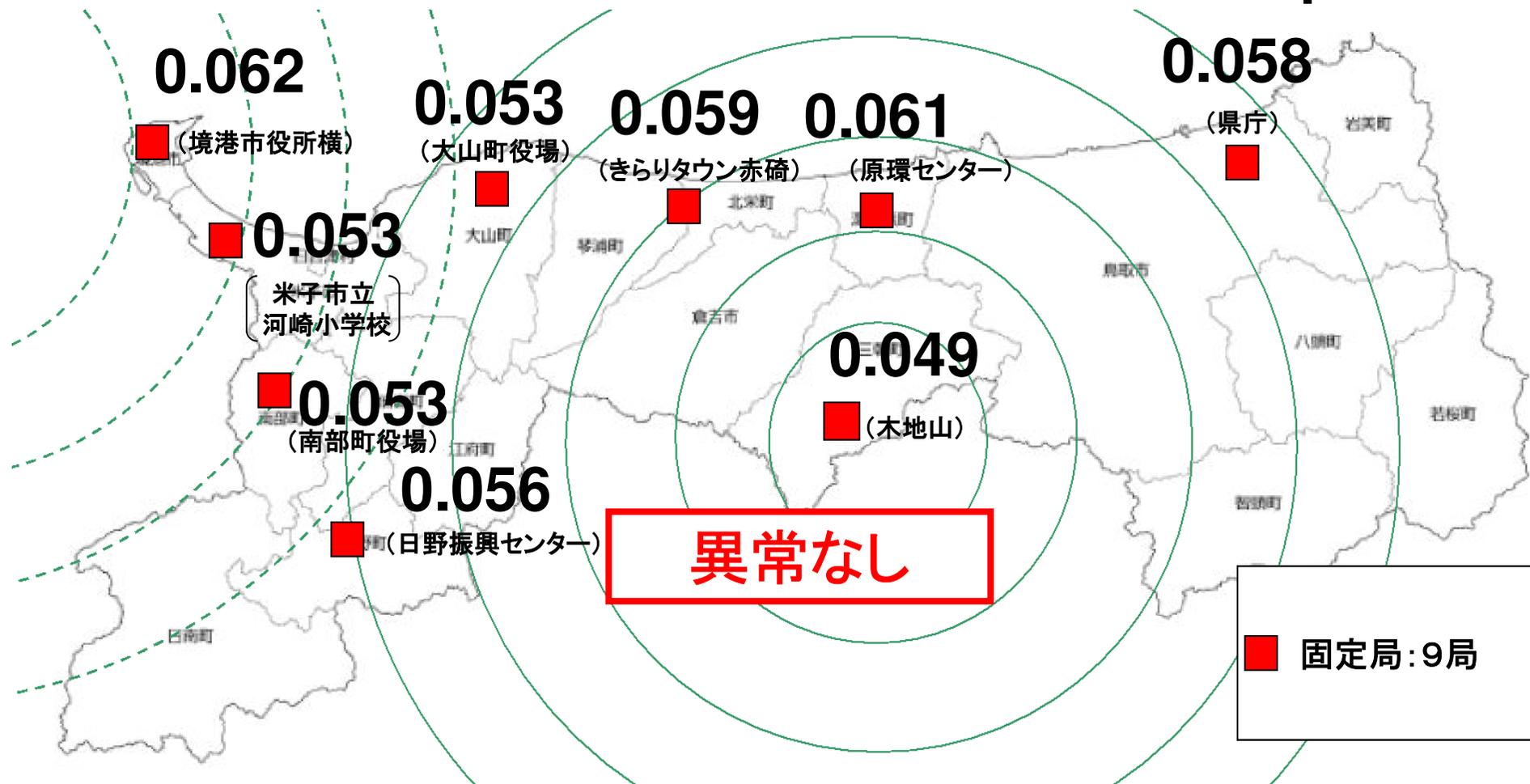
* 降下物や大気浮遊じんのデータは、国の公表を紹介する形で資料提供を行う。

□モニタリングデータはHPでご覧いただけます。

<http://monitoring.pref.tottori.lg.jp/pg/map/index.php>

【 9月3日14:30現在のモニタリングポストデータ】

単位: $\mu\text{Sv/h}$



* 原子力環境センター(衛生環境研究所)の平成23~29年8月末の変動幅

0.035~0.113 $\mu\text{Sv/h}$

県内9箇所のモニタリングポストの観測値と変動幅(詳細)

県内9箇所で平常時から連続観測している空間線量率の観測値は、通常の変動の範囲内であり、現在のところ、北朝鮮による核実験の影響と見られる数値の上昇は確認されていない。

測定場所	14:30現在の測定値(μSv/h)	空間線量率(μSv/h)の過去の変動範囲
原子力環境センター (衛生環境研究所)	0.061	0.035~0.113(H23~29.8月末)
木地山局	0.049	0.013~0.142(H23~29.8月末)
米子局(米子市立河崎小学校)	0.053	0.034~0.146(H24~29.8月末)
境港局(境港市役所)	0.062	0.045~0.117(H24~29.8月末)
南部町役場測定局	0.053	0.034~0.127(H24~29.8月末)
大山町役場測定局	0.053	0.027~0.120(H24~29.8月末)
日野振興センター測定局	0.056	0.026~0.188(H24~29.8月末)
きらりタウン赤崎局	0.059	0.027~0.134(H24~29.8月末)
鳥取県庁局	0.058	0.022~0.120(H24~29.8月末)

市町村への依頼事項

【全市町村】

●放射線モニタリングの測定値が通常範囲を越えて、かつ人体に影響があると思われるような万万が一の場合、住民への広報の実施

→防災行政無線、広報車の活用

<参考：北朝鮮の記念日等情報>

- 8月 9日 グアム島周辺への包囲射撃検討を発表
- 8月10日 「同時に4発発射し、日本の島根県、広島県、高知県の上空を通過させ、グアム島周辺の海上に落とす」と具体的な飛行ルートを予告
- 8月21日 米韓合同演習「乙支(ウルチ)フリーダムガーディアン」を開始(～31日)
- 8月25日 専軍節：金正日総書記が専軍政治を始めた日
- 8月28日 海軍節＝海軍の記念日
- 9月 9日 建国記念日：1948年に北朝鮮が建国した日
- 9月11日 アメリカ同時多発テロ事件発生日

○引き続き弾道ミサイルの発射、核実験について注意・警戒が必要

核実験県の対応方針(案) 各部局の業務

構成		所掌事務
部局	課	
危機管理局	危機対策・情報課	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局運営に関すること ・情報収集(官邸・消防庁)・集約及び県民等への情報提供に関すること ・対策の総合企画・調整に関すること ・国(官邸・消防庁)及び市町村等との連絡調整に関すること
生活環境部	水・大気環境課 (原子力環境センターを含む。) 東部生活環境事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線モニタリングの実施及び広報(原子力規制庁へのデータの報告) ・情報収集(原子力規制庁)
福祉保健部	福祉保健課・健康政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・住民健康相談の実施他
元気づくり総本部	広報課	<ul style="list-style-type: none"> ・広報の総括に関すること
総務部	人事企画課	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国へ派遣の県職員への情報提供
地域振興部	教育・学術振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国への旅行学生等への情報提供(私立学校、大学)
観光交流局	交流推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国等の情勢等確認
	観光戦略課	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国への旅行者への情報提供 ・エアソウル、香港航空の運航情報に関すること
商工労働部	通商物流課	<ul style="list-style-type: none"> ・DBSクルーズの運航情報等に関すること
農林水産部	水産振興局水産課	<ul style="list-style-type: none"> ・漁船の安全に関すること
教育委員会	教育総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国への旅行生徒等への情報提供(公立学校) ・日本人学校派遣教員への情報提供 ・若鳥丸の運航情報等に関すること
東部振興監、中部・西部総合事務所、 日野振興センター		<ul style="list-style-type: none"> ・市町村等との連絡調整に関すること ・別指示による放射線モニタリング実施(モニタリング車等を含む。)

問い合わせ窓口

問合せ内容	問合せ先	電話番号
全般に関する問合せ	危機対策・情報課	0857-26-8100
モニタリングに関する問合せ	原子力環境センター 水・大気環境課	0858-35-5411 (休日・夜間::080-2922-2219)
健康に関する問合せ	鳥取保健所 (東部福祉保健事務所)	0857-22-5694 (休日・夜間:090-7897-1366)
	倉吉保健所 (中部総合事務所福祉保健局)	0858-23-3145 (休日・夜間:同じです。転送されます。)
	米子保健所 (西部総合事務所福祉保健局)	0859-31-9317 (休日・夜間:同じです。自動音声により 連絡先の案内が流れます。)